

SPORTS PROMOTION PLAN

武蔵村山市スポーツ推進計画



武蔵村山市教育委員会

平成24年3月

はじめに

スポーツ・レクリエーションに親しむことは、体力の向上、精神的なストレスの解消といった心身の両面にわたる健康の保持増進や地域コミュニティの活性化などにつながることから、市民のスポーツ・レクリエーション活動に対するニーズは、増大・多様化しております。

こうした状況の中、本市におきましては、平成23年2月に策定した武蔵村山市第四次長期総合計画において、スポーツ・レクリエーションに関し、「市民が楽しみながら、いつでも気軽に健康・体力づくりができるよう、スポーツ・レクリエーション事業の拡充や生涯にわたってスポーツとの関わりを持てる環境の整備、スポーツ・レクリエーション施設の整備、改善を推進します。」との基本方針を掲げております。

一方、平成23年6月には、昭和36年に制定されたスポーツ振興法の全部が改正され、「スポーツに関する施策の基本となる事項を定めることにより、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の形成、活力ある社会の実現及び国際社会の調和ある発展に寄与すること」を目的としたスポーツ基本法が制定されたところです。

これらを踏まえ、今般、市民の健康増進と体力の向上を目指し、スポーツ・レクリエーションの普及に努めるとともに、市民の生涯スポーツ活動を計画的に推進するためのアクションプランとして「武蔵村山市スポーツ推進計画」を策定いたしました。

今後は、本計画を基に市民ニーズの動向を的確に把握し、生涯にわたり楽しめるスポーツ環境を推進して参りたいと考えております。

結びに、本計画の策定にあたり貴重な御意見等をいただきました多くの皆様に、厚く御礼申し上げます。

平成24年3月

武蔵村山市教育長 持田 浩志

◆◆◆◆ 目次 ◆◆◆◆

第1章 総論

第1節	スポーツの意義	3
第2節	計画策定の背景	4
第3節	計画の位置付け	5
第4節	計画の基本方針	6
1	計画の趣旨	6
2	計画の視点と目標	7
3	計画期間	7

第2章 スポーツ推進施策の展開

第1節	生涯スポーツの普及推進による底辺の拡大	11
1	総合型地域スポーツクラブの創設と育成	11
2	レクリエーションスポーツの充実	12
3	スポーツに親しむ子供の育成	13
4	成年スポーツの活動支援	14
5	中高齢者スポーツの活動支援	15
6	障害者スポーツの活動支援	16
7	生涯スポーツ指導者の育成	17
第2節	国体の開催と競技スポーツの充実・向上	18
1	国民体育大会の開催	18
2	競技スポーツ団体の活性化の推進	19
3	競技スポーツ大会の充実	20
4	競技スポーツ団体への支援	21

第3節	スポーツ環境の整備・充実	22
1	公共スポーツ施設の整備・充実	22
2	学校体育施設の整備・充実	24
3	公園・広場等の整備・充実	25
第4節	スポーツ推進への行政の関わりの強化・充実	26
1	スポーツの参加支援	26
2	スポーツ情報の提供	27

資料編

1	アンケート調査概要	31
2	アンケート調査結果	33
3	武蔵村山市スポーツ推進計画策定経過	49
4	委員名簿	50
5	関係要綱	51

第1章 総論

第1節 スポーツの意義

第2節 計画策定の背景

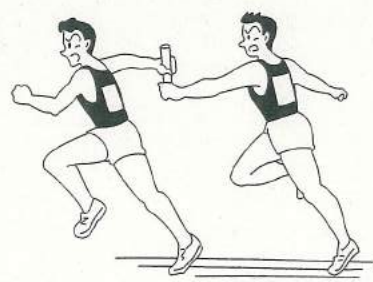
第3節 計画の位置付け

第4節 計画の基本方針

1 計画の趣旨

2 計画の視点と目標

3 計画期間



第1節

スポーツの意義

スポーツは、体を動かすという人間の本源的欲求に応えるとともに、爽快感や達成感等という精神的な充足や楽しみ、喜びをもたらします。また、スポーツは、健康の保持増進や体力の向上を図るだけでなく、特に子供たちにとっては、心身の健全な発達を促し、自己責任・克己心（自制心）や社会規範、フェアプレーの精神などを身に付ける上で大きな効果があり、仲間や大人との交流を通じて、コミュニケーション能力の向上や他人に対する思いやりなど、豊かな人間性のかん養に資するものです。

一方、スポーツは、可能性の追求という面をも持っており、アスリートの自己を高める努力は、人々に感動と勇気をもたらし、活力ある社会の形成に寄与することとなります。さらに、身近な施設でスポーツ活動を行うことを通して、人々は互いに交流を深め合い、地域の連帯感の醸成にも資することとなります。

このように、スポーツは多様な意義を有しており、スポーツを通し、地域の仲間との交流を楽しんだり、アスリートたちは指導者とともに仲間たちと技を極めたり、子供たちの豊かな心と体を学校と地域で育んだり、さらにはスポーツを支える基盤や環境をニーズに応じ整えたりするなど、私たちは、スポーツと様々な関わりをもって活動しており、今後、スポーツを生活に欠かせない一つの文化として、より一層浸透させていくことが必要になっています。



第2節

計画策定の背景

国は、平成12年9月に「スポーツ振興基本計画」を策定し、「生涯スポーツ社会の実現」を柱に、長期的・総合的なスポーツ振興政策を示しました。また、平成18年9月には社会環境の変化を踏まえ、同計画が全面的に改められたところです。さらに、平成23年には、昭和36年制定の「スポーツ振興法」が50年ぶりに全面改正され、新たな「スポーツ基本法」が定められました。

東京都においては、平成20年7月に、国のスポーツ振興基本計画を受けて平成14年に策定した「東京都スポーツ振興基本計画」を全面的に見直し、平成25年開催の第68回国民体育大会東京大会や都としてのスポーツ環境整備、さらには総合型地域スポーツクラブの育成等の方策を盛り込んだ計画を策定しています。

本市では、平成23年2月に「武蔵村山市第四次長期総合計画」を策定し、市の将来都市像を『人と緑が織りなす 夢ひろがる やさしいまち むさしむらやま』と定め、①地域が一体になって人を育み、守る、思いやりのあるまちづくり、②恵まれた自然環境と都心近郊の利便性が感じられる、快適で暮らしやすいまちづくり、③自然や文化、産業を生かし、地域の特性を生かした個性あるまちづくり、④市民、事業者と市が協働し、みんなで考え、行動するまちづくりの4つの基本目標のもと、各分野のまちづくり施策・事業の実施を掲げています。また、この計画の中では、スポーツ・レクリエーションの分野で「市民が楽しみながら、いつでも気軽に健康・体力づくりができるよう、スポーツ・レクリエーション事業の拡充や生涯にわたってスポーツとの関わりを持てる環境の整備、スポーツ・レクリエーション施設の整備、改善を推進します。」との基本方針を掲げております。

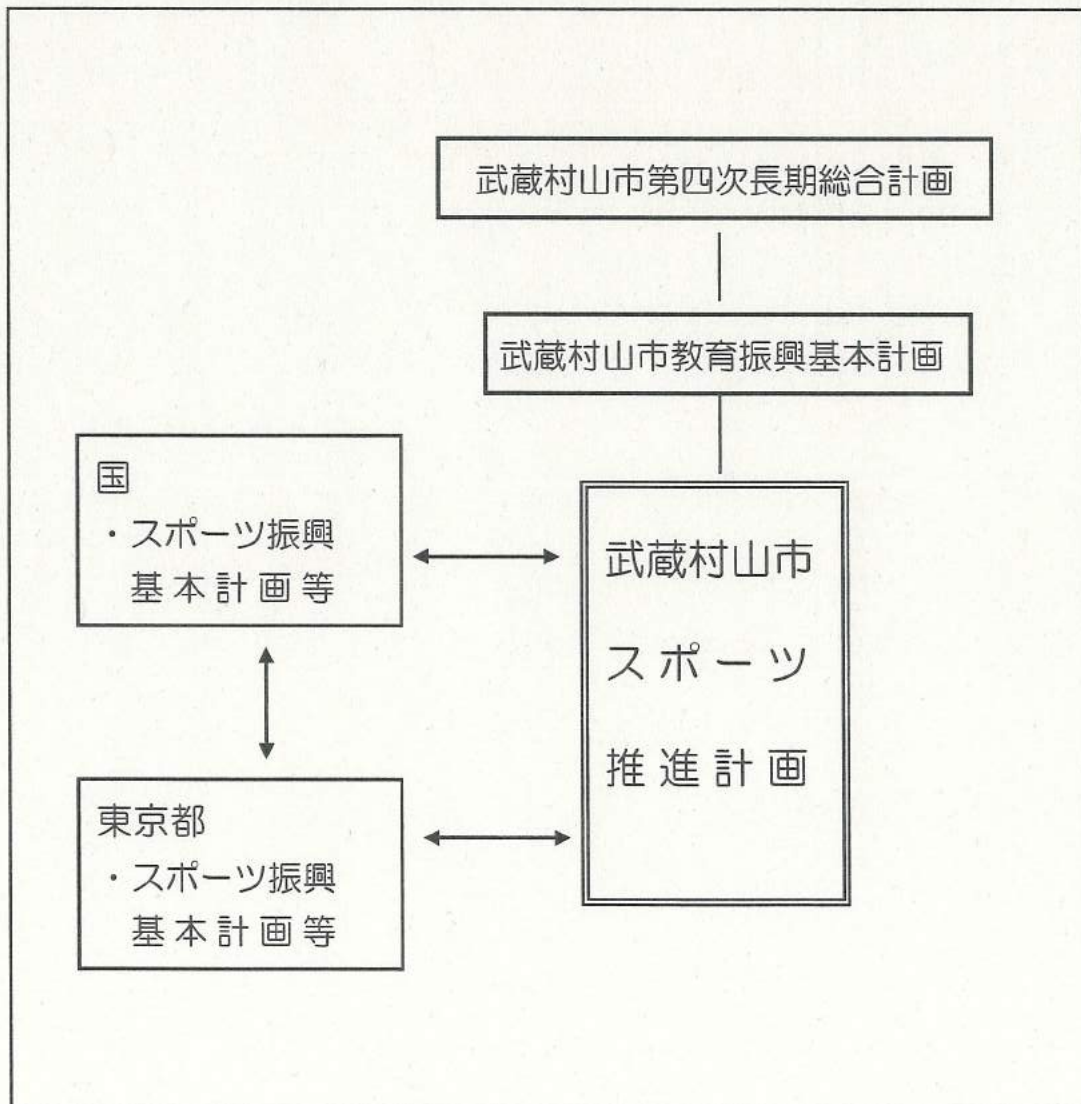
これらを背景に、市の情勢と地域の現状や市民ニーズを的確に捉えながら、市民の主体的なスポーツ活動を育成するため「武蔵村山市スポーツ推進計画」を策定することといたしました。



第3節

計画の位置付け

国や都の動向、市の関連計画の動向等を踏まえ、本計画の位置付けは、次のとおりとします。



第4節

計画の基本方針

1 計画の趣旨

スポーツ基本法第10条で、都道府県及び市町村の教育委員会は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めるものとされています。

このため、本市でも、スポーツに関する施策に関し、国や都との連携を図りつつ、自主的かつ主体的に、本市の特性に応じた施策を策定し、及び実施するため、武蔵村山市スポーツ推進計画を策定します。

また、本計画は、勝ち負けを競うスポーツのほか、気軽に体を動かす運動、障害者スポーツや介護予防など、スポーツを広い観点で捉えるとともに、本市の特性をいかし、市民のスポーツライフを計画的に創出するためのアクションプランとします。

そのための方策として、以下の4つの柱を設け、中・長期的な視点に立ったスポーツ推進の基本的な施策として、相互に連携させながら推進します。

- 1 生涯スポーツの普及推進による底辺の拡大
- 2 国体の開催と競技スポーツの充実・向上
- 3 スポーツ環境の整備・充実
- 4 スポーツ推進への行政の関わりの強化・充実

2 計画の視点と目標

スポーツの意義や効果をいかしつつ、市民スポーツの現状やスポーツニーズなどスポーツ推進上の課題を踏まえ、市民が生涯にわたり明るく健康的で活力に満ちたスポーツライフの基盤づくりを重点施策とし、生涯スポーツ社会の実現を目指します。

そして、市民がいつでも手軽に、身近な場所で、誰でもが、生涯にわたって、運動やスポーツ、レクリエーション活動などを楽しむことができる環境を整えながら、幅広いスポーツ活動を展開していきます。

さらに、本計画では次の重点目標を掲げて施策を展開し、その達成を目指します。

【重点目標】

- 週1回以上の運動・スポーツ実施率を70%にします
- 子供たちのスポーツ活動を応援し、体力・運動能力を伸長します
- 市民の主体的なスポーツ活動「※総合型地域スポーツクラブ」の創設を目指します

※ 総合型地域スポーツクラブ

→ 「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」継続的にスポーツに親しめる環境として、地域住民が主体となって自主的に運営する、多種目・多世代・多目的のスポーツクラブです。

3 計画期間

本計画は、平成24年度を初年度、平成33年度を目標年度として、今後10年間のスポーツ推進施策について定めます。また、5年ごとに計画の進捗状況や成果を調査等で確認し、施策や事業の見直しを図っていきます。

第2章 スポーツ推進施策の展開

第1節 生涯スポーツの普及推進による底辺の拡大

- 1 総合型地域スポーツクラブの創設と育成
- 2 レクリエーションスポーツの充実
- 3 スポーツに親しむ子供の育成
- 4 成年スポーツの活動支援
- 5 中高齢者スポーツの活動支援
- 6 障害者スポーツの活動支援
- 7 生涯スポーツ指導者の育成

第2節 国体の開催と競技スポーツの充実・向上

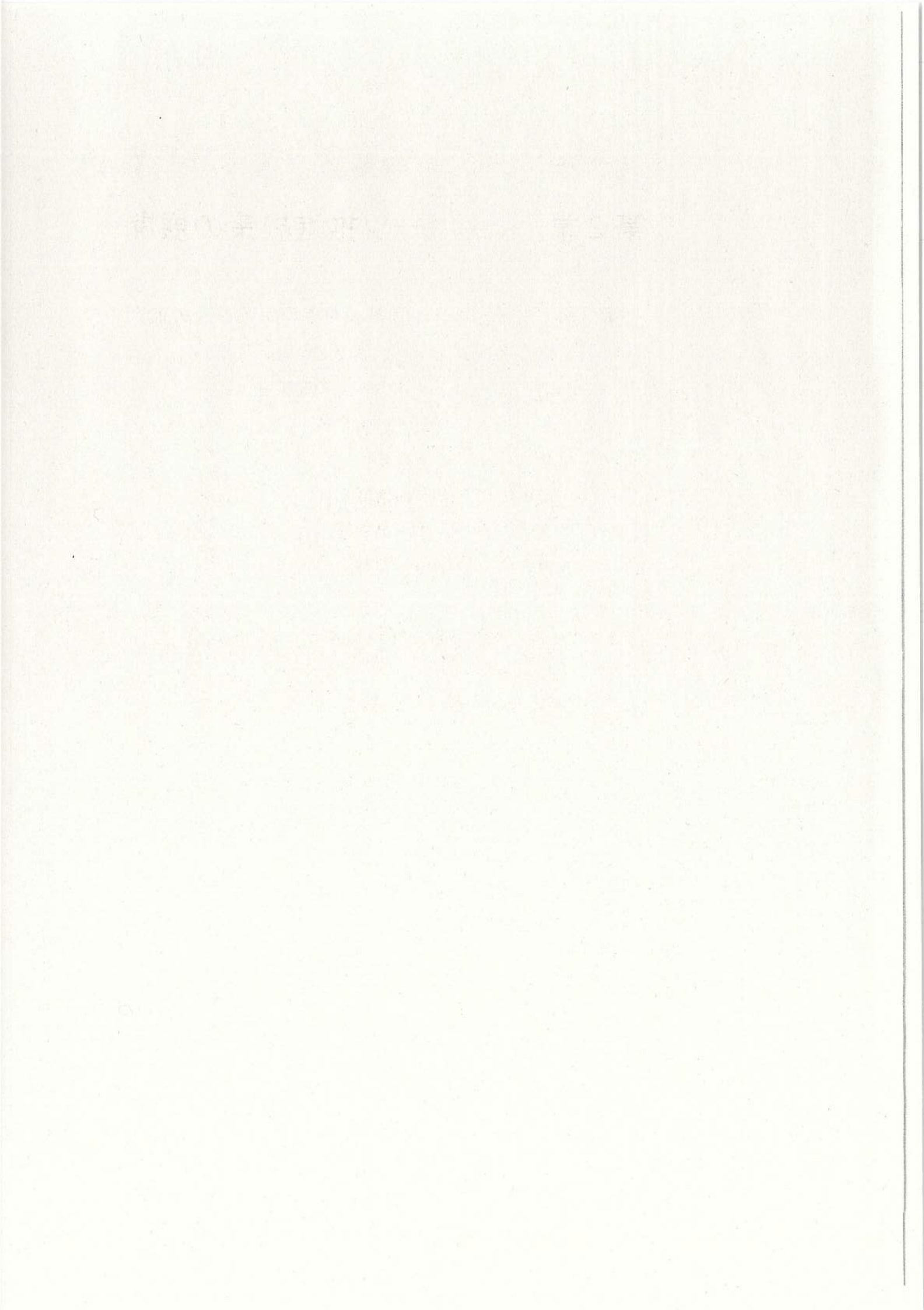
- 1 国民体育大会の開催
- 2 競技スポーツ団体の活性化の推進
- 3 競技スポーツ大会の充実
- 4 競技スポーツ団体への支援

第3節 スポーツ環境の整備・充実

- 1 公共スポーツ施設の整備・充実
- 2 学校体育施設の整備・充実
- 3 公園・広場等の整備・充実

第4節 スポーツ推進への行政の関わりの強化・充実

- 1 スポーツの参加支援
- 2 スポーツ情報の提供



第1節

生涯スポーツの普及推進による底辺の拡大

市民の豊かなスポーツライフの実現に向け、健康増進や生きがいづくり、青少年の健全育成やコミュニティの醸成など、スポーツ活動の効果を高める施策の普及推進を図り、その裾野を拡げます。

1 総合型地域スポーツクラブの創設と育成



現状と課題

スポーツをしていない市民は、アンケート結果で約28%となっています。また、もっとスポーツを行いたいのが約70%となっています。地域で行われているスポーツ等を持続的に行うには、地域の人々が一緒に楽しく、いつまでもスポーツができる環境を整えていくことが望まれます。

このため、様々な世代が、様々なスポーツなどができ、地域の住民が中心になり自主的に運営していく※総合型地域スポーツクラブの創設を進める必要があります。

到達目標

- 中学校区ごとの総合型地域スポーツクラブの設立
- 総合型地域スポーツクラブの設立・運営に必要な人材の育成
- 総合型地域スポーツクラブを活動拠点とした市民の運動・スポーツ実施率の向上
- トップ選手と市民と一緒にスポーツをする環境の整備

具体的な取組と施策展開

- ◆ 平成24年度までに、一つの総合型地域スポーツクラブを設立するとともに計画期間内に全ての中学校区にクラブの設立を目指します。
- ◆ 活動拠点として、学校施設等の公共施設を提供することを検討します。
- ◆ クラブの設立・運営にはマネジメントの能力がある人材やスポーツ活動、サークル活動（文化的活動を含む。）等の指導ができる人材が必要です。このため、人材の確保や育成の方法を確立します。

トップ選手が指導者として選手を育成する競技スポーツと地域スポーツの好循環を目指します。

2 レクリエーションスポーツの充実

現状と課題

市民は、初心者向けのスポーツ教室や事業など、誰でも気軽に楽しめる※レクリエーションスポーツや※コミュニティスポーツの充実を求めています。

各地区で組織されている体育推進員連絡会で行われているレクリエーションスポーツ事業等は、これまでの地区の実情に即した形で行われてきたため、どうしても限定的な活動になりがちで、参加する人の広がりには欠けている面もあります。そのため、新たな※ニュースポーツを紹介したり指導できる地域で行われているスポーツ等のリーダーの養成・確保が課題となっています。

※レクリエーションスポーツ

→ 幼児から高齢者まで生涯を通じて誰でも気軽に楽しんでプレイできるスポーツ。

※コミュニティスポーツ

→ 住民が自発的に行うスポーツ活動、さらには地域社会の連帯を強める目的。

※ニュースポーツ

→ 軽スポーツ、やわらかいスポーツとして、一般に、勝敗にこだわらない気軽楽しむことを主眼とした身体運動を指す。

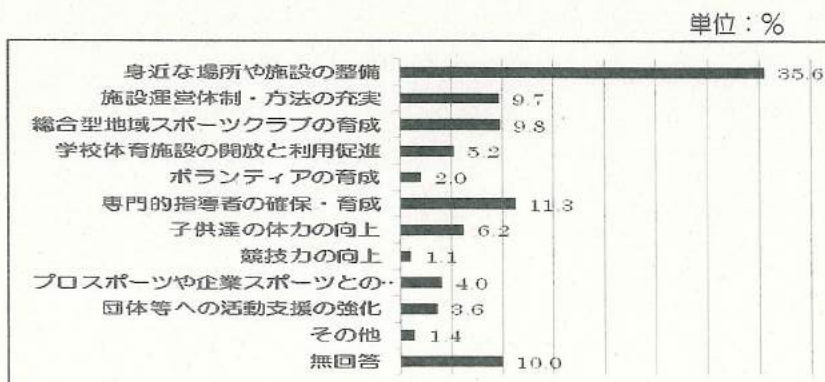
到達目標

- ニュースポーツなどのレクリエーションスポーツの普及と実践機会の充実
- ニュースポーツ団体の育成と設立の支援
- 気軽にスポーツを楽しめるコミュニティ組織でのスポーツ活動の推進

具体的な取組と施策展開

- ◆ 新たな地域運動場などの整備を図ります。
- ◆ スポーツ推進委員等によるニュースポーツ等研修の機会を充実します。
- ◆ 家族やグループ、地域ぐるみで参加のできる親子スポーツ、世代間スポーツを積極的に開催し、コミュニティ活動の活性化や仲間づくりを支援します。

(資料) 武蔵村山市のスポーツ活動が盛んになるには(アンケート調査 問32)



3 スポーツに親しむ子供の育成



現状と課題

子供の体力の現状として、文部科学省が行っている「体力・運動能力調査」によると、子供の体力・運動能力は、昭和60年頃から現在まで低下傾向が続いている反面、体格は向上しているといわれています。

子供の体格の向上に反比例した体力の低下や、スポーツをする子供と全くしない子供の二極化、さらに、テレビゲームなどで、体を動かす遊びや運動が少なくなっていることから、体を動かす楽しさを早い時期に覚えさせることが課題となっています。

到達目標

- 初めてスポーツに触れる機会づくりの充実
- 幼・少年期からの運動の推進やスポーツ教室の充実
- スポーツを通しての青少年の健全育成



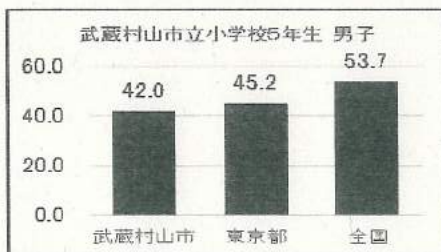
具体的な取組と施策展開

- ◆関係団体と連携して、幼・少年期の運動の必要性を啓発し、親子で体を動かす機会や場を提供します。
- ◆保育所や幼稚園などと連携し、体を動かす遊びや運動のプログラムを提供するなど、生涯スポーツの基礎づくり事業を推進します。
- ◆食育、生活習慣の改善への取組を推進し、子供の体力の向上に努めます。

出典：武蔵村山市体力向上推進委員会（平成22年度資料）

シャトルラン

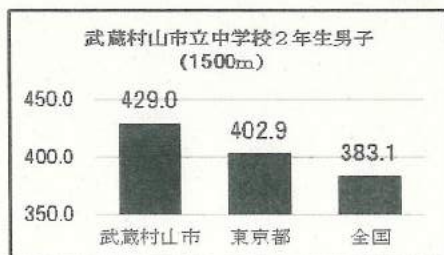
単位：回



シャトルランとは、20m間隔の平行線の間を、決められた時間内に何回まで走り続けることができるかを測定するものです。

持久走

単位：秒



持久走のグラフは、棒が短いほど記録がよいことを表しています。

4 成年スポーツの活動支援

現状と課題

平成21年度に内閣府が実施した「体力・スポーツに関する世論調査」に基づき文部科学省が推計したデータによると、20歳以上の成人が過去1年間に何らかのスポーツを行ったとする割合は全体の45%で、近年、穏やかですが上昇傾向となっています。

本市が行ったアンケートの調査結果においては、成人の過去1年間のスポーツ実施率は約61%であり、文部科学省が推計したデータを上回った結果を示しています。

一方、過去1年間にスポーツを行わなかった理由を問う設問では、「時間がないから」、「機会がなかったから」、「体力に自信がないから」が全体の80%近くを占め、身近な場で気軽に楽しめるスポーツ等ができる機会の拡充が求められています。

(資料) 過去1年位の間、スポーツを行わなかった理由(アンケート調査 問10-1)

	59歳以下
時間がないから	126人(48.6%)
機会がなかったから	50人(19.3%)
体力に自信がないから	26人(10.0%)

※第3位まで掲載

到達目標

- 各年齢層におけるスポーツ実施率の向上
- 成年層を対象とした健康・体力づくりプログラムやスポーツ推進事業の充実
- 成年スポーツの中核となるコミュニティスポーツの推進

具体的な取組と施策展開

- ◆総合型地域スポーツクラブの展開により、スポーツを行う機会を多く提供し、ニーズに即した内容の充実に努めます。
- ◆自発的に行えるジョギングやウォーキングができる施設やお薦めポイント等の案内の提供に努めます。
- ◆生活習慣病、メタボリックなどの予防対策事業を推進します。

5 中高齢者スポーツの活動支援

現状と課題

アンケートによると、中高齢者の軽い運動やスポーツ実施率は89%であり、週に1～2日程度は何らかのスポーツを行っており、主に「健康」を意識した運動・スポーツが行われています。加齢に伴い健康と運動・スポーツへの関心が高くなることを示しています。中高齢者がいつまでも健康で自立した生活を営むためにも運動・スポーツニーズに対応した施策の展開を図る必要があります。

到達目標

- 健康増進のための教室・講座の実施と予防医療への取組
- 中高齢者スポーツ教室・体操教室等の開催
- 生きがいつくりの啓発と社会参加の支援

具体的な取組と施策展開

- ◆公園や広場などで運動の機会を提供します。
- ◆体力測定の実施により、自己分析、現状把握を促し、関心を高めます。
- ◆保健福祉事業や老人クラブ連合会等が行う事業との連携を積極的に進め、健康づくりと中高齢者相互の交流を図るために中高齢者に適した各種ニュースポーツなどの普及を推進します。

(資料) 過去1年位の間スポーツ実施率(アンケート調査 問10)

	60歳以上
軽い運動やスポーツを行った	171人(68.1%)
競技的スポーツを行った	53人(21.1%)
特に行っていない	27人(10.8%)

6 障害者スポーツの活動支援

現状と課題

現在、本市では、障害者を対象としたグラウンドゴルフ教室を毎月1回開催していますが、障害者が学校や地域でスポーツに親しむ環境が整っていないことなど、障害者スポーツには多くの問題が山積しています。障害者も健常者と同じように、何も心配することなく施設を利用することが求められています。比較的新しい施設については、バリアフリーが進んでいますが、特に古い施設のバリアフリーをどのように進めていくかが今後の課題となっています。

到達目標

- 障害者の安全で快適なスポーツ環境の提供
- 初心者から上級者までを段階的にサポートするプログラムの実施
- 自主的にスポーツを行う個人や団体への支援

具体的な取組と施策展開

- ◆機能改善のための運動、レクリエーションなど、多様なニーズに対応していきます。
- ◆障害者スポーツの知識を持った指導者の確保、練習環境の整備を進めます。
- ◆スポーツができないと諦めていた障害者への支援をします。
- ◆総合型地域スポーツクラブを中心に定期的な活動機会を提供するとともに受け入れのための諸条件の整備を進めます。
- ◆地域における“ノーマライゼーション”の推進を図ります。
- ◆専門機関（東京都障害者スポーツ協会等）との連携を図ります。

ノーマライゼーション

→障害者が健常者と同じような生活をし、活動することが社会の本来のあるべき姿であるという考え方。

7 生涯スポーツ指導者の育成

現状と課題

健康で豊かに暮らしたいという考えから生活の一部としてスポーツに取り組む人が増えており、専門的にスポーツ指導を行える人材が求められています。

ニュースポーツ等の指導については、スポーツ推進委員が中心的役割を果たしているのが現状です。今後、地域で活躍している指導者、ボランティアを育成、活用するとともに、地域に埋もれている有資格者やスポーツボランティアの掘り起こしが課題となっています。



到達目標

- スポーツ推進委員の活動奨励
- 指導者の発掘の推進
- 指導者の資質向上のための研修の実施
- 人材バンクの創設及び地域での積極的活用

具体的な取組と施策展開

- ◆ニュースポーツ等の研修会についてスポーツ推進委員の積極的な参加を促します。
- ◆地域のスポーツ指導者を対象に資質の向上や情報交換を目的に研修を実施します。
- ◆ジュニア選手の育成、発達に応じた実技指導、※スポーツ障害の予防などに対応できる指導者、専門スタッフを養成します。
- ◆指導者の登録制度を設け、ニーズに合った指導者の派遣を充実します。

※スポーツ障害

→スポーツ（運動）をすることで起こる障害や外傷などの総称。

第2節

国体の開催と競技スポーツの充実・向上

競技スポーツは、技術・競技力の向上を図り、競技会等に参加してその成果を発表するものです。それぞれの選手の資質を最大限に引き出すことが大切であり、技術レベルに応じ組織的に育成していく指導体制の構築が必要です。

1 国民体育大会の開催

現状と課題

平成25年（2013年）に東京都において第68回国民体育大会※（以下「国体」という。）が開催され、武蔵村山市では、ハンドボール競技（少年男子・少年女子）が実施されることから、市全体で盛り上げる必要があります。

また、国体の開催を契機に、本市の競技スポーツの更なる充実・向上、スポーツ組織の充実などが期待されます。

到達目標

- 国体開催に向けた競技会場の整備
- 万全な準備の実施
- 武蔵村山市らしさを盛り込んだ国体の開催

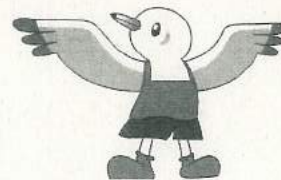
具体的な取組と施策展開

- ◆競技会場となる総合体育館の施設の充実を図ります。
- ◆東京都や関係市町村などと連携を図り、万全な推進体制を確立し、開催準備を進めます。
- ◆開催に当たっては、武蔵村山市らしいもてなしの心にあふれた国体とするため、市民や市内各種団体などとの連携を図り、競技に参加した選手にも、また市民にも心に残る国体となるよう努めます。

※国民体育大会→(財)日本体育協会、国(文部科学省)、開催地都道府県の三者による共同開催で行われ、「各都道府県対抗による我が国最大の総合的な競技大会であり、国民スポーツの祭典である」と定義される。国体の開催により、競技力の向上、スポーツ組織の充実、地域の活性化が期待されている。

スポーツ祭東京2013

「第68回国民体育大会」と「第13回全国障害者スポーツ大会」を一つの祭典として開催するスポーツ大会



ゆりーと

スポーツ祭東京2013 マスコットキャラクター

2 競技スポーツ団体の活性化の推進

現状と課題

本市の競技スポーツは、体育協会に加盟する団体及び地域のスポーツ団体を中心に行われています。平成23年12月末日現在、体育協会への加盟団体は21団体で、会員数は約4,000人となっています。体育協会については、今後も市のスポーツ振興の中核的担い手となることが期待されていることから、組織力の一層の充実や、法人格の取得などに向けた取組が求められています。

また、近年、一般部門のほか、シルバー（マスターズ）部門やジュニア部門など幅広い世代で競技スポーツが活発になっており、それらの受け皿となる団体の組織化の重要性が増しています。

加えて、体育協会などに所属しないスポーツ団体の活動状況の把握やそうした団体との連携、支援などの取組も調査、研究していく必要があります。

到達目標

- 競技団体の活動支援
- 新たな競技団体の組織化の推進
- 自主サークル等の発掘、支援

具体的な取組と施策展開

- ◆体育協会の組織力の充実に向けた支援を進めます。
- ◆競技スポーツの新たな団体・サークルの組織化を支援します。
- ◆総合型地域スポーツクラブを生涯スポーツの観点からだけでなく、競技性をも考慮して育成を支援します。
- ◆自主サークルの実態の把握に努め、その育成等について調査、研究を進めます。

3 競技スポーツ大会の充実

現状と課題

本市では、市民総合体育大会をはじめ、幅広い分野で、幅広い世代の市民を対象として競技スポーツ大会を開催しています。

競技スポーツ愛好者にとって、競技会に出場し、他人と力を競うことは大きなモチベーションの向上につながります。

このため、今後も障害者の大会を含め、競技スポーツ大会の開催回数を増やし、メニューを充実していく取組を進めていきます。

到達目標

- 既存の競技スポーツ大会等の充実
- 新たな競技スポーツ大会の開催



具体的な取組と施策展開

- ◆市民総合体育大会等既存の競技スポーツ大会の充実を図り、参加団体・参加者の拡大と参加の促進を図ります。
- ◆中高齢者部門の競技スポーツ大会、ジュニア部門の競技スポーツ大会、障害者部門の競技スポーツ大会など新たな競技スポーツ大会の開催を推進します。

4 競技スポーツ団体への支援

現状と課題

競技スポーツ志向の選手にとって、競技力、技術力の向上は大変重要な問題です。このため、競技スポーツ志向の選手が所属する団体は、優れた指導者を確保したり、選手を講習会や練習会に派遣したりすることが求められます。

このほか、トップアスリートを招いた講習会や練習会などを開催し、指導者を育成したり、有望選手を発掘するなどの取組が必要となります。

到達目標

- 競技スポーツ団体への支援
- 優れた指導者の育成
- 有望選手の発掘・支援

具体的な取組と施策展開

- ◆都民体育大会、東京都市町村総合体育大会等への選手・役員派遣を充実します。
- ◆トップアスリートを招いた講習会を開催し、指導者の育成、有望選手の発掘に努めます。また、そうした活動をする団体を支援します。
- ◆全国大会等出場者への支援を充実します。



第3節

スポーツ環境の整備・充実

本市には、スポーツ施設として、体育館、多目的運動広場、プール、庭球場、野球・ソフトボール場などがあります。また、これらのスポーツ施設は、学校体育施設、大学・高等学校の体育施設、公共スポーツ施設、職場スポーツ施設、民間スポーツ施設等に分けられ、このうち、各種スポーツ団体が活動拠点として最も利用しやすいのは、公共スポーツ施設といえます。

1 公共スポーツ施設の整備・充実

現状と課題

本市の主な公共スポーツ施設としては、総合体育館のほか、総合運動公園運動場、雷塚公園と大南公園内の野球場や庭球場、野山北公園プール、大南公園プール等があります。

そこで、アンケート調査において「公共スポーツ施設を利用する際、不満や不便だと感じていること」を尋ねたところ、「特にない」が最も多くなっていますが、次いで「交通の便」、「借りる手間の面倒」が多く挙げられています。

さらに、「武蔵村山市に建設・増設してほしいと思うスポーツ施設は何ですか」という設問の要望では、「プール（屋内・屋外）」、「テニスコート」が多く挙げられています。

到達目標

- 公共スポーツ施設の整備
- 公共スポーツ施設の駐車場の整備・拡充
- 公共スポーツ施設の予約における利便性の向上

具体的な取組と施策展開

- ◆市民要望も踏まえつつスポーツ施設の整備の在り方について検討します。
- ◆駐車場の整備・拡充を推進します。
- ◆公共施設予約システム等の導入を推進します。

[注] 公共施設予約システム等とは⇒ 施設の空き状況の検索や予約、各種団体の活動内容が提供できるシステム。

公共スポーツ施設の概要

現在、市内に設置されている主要な公共スポーツ施設とその概要は、次のとおりです。

施設名		面積 (㎡)	備 考
総合体育館	第1体育室	1,900.00	バスケットボール2面、バレーボール3面、バドミントン8面
	第2体育室	250.00	剣道、空手道、軽体操等
	第3体育室	250.00	柔道、合気道等
	幼児体育室	70.00	幼児の自由遊び
	ランニング走路	256.00	1周160m
	トレーニング室	160.00	各種マシン16種類・29台
総合運動公園運動場	第1運動場	20,254.93	硬式野球 右翼92m・左翼98m
	第2運動場	17,435.15	300mトラック、陸上、サッカー等
	第3運動場	5,001.50	少年野球、ソフトボール等
雷塚公園	野球場	7,817.65	軟式野球等 両翼81m
	庭球場	2,138.85	クレーコート3面
大南公園	野球場	7,161.43	軟式野球 両翼81m、ナイター
	庭球場	2,117.67	クレーコート3面
野山北公園運動場		6,656.00	グラウンドゴルフ、ゲートボール等
野山北公園プール		3,425.17	25m×13m、6コース 幼児用プール190㎡
大南公園プール		906.03	25m×13m、5コース

2 学校体育施設の整備・充実

現状と課題

小・中学校の学校体育施設は、原則として学校教育に支障のない範囲で市民のスポーツ活動の場として、利用が許可されています。しかし、学校によっては利用団体が多いことから、利用が混み合い、新たな団体が利用できないなどの課題もあります。このことから、学校体育施設が効率的に利用されることが望まれます。

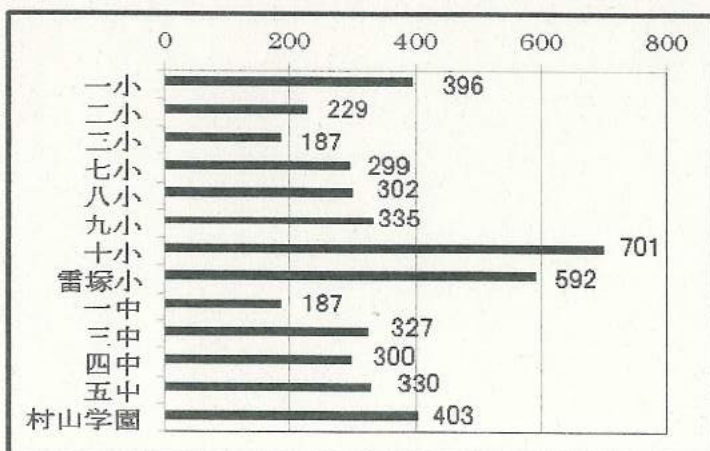
到達目標

- 学校体育施設活用のための効率的な管理運営の推進
- 学校体育施設・設備の改良

具体的な取組と施策展開

- ◆学校施設の一層の有効活用を図るため、施設予約受付方法の改善など効率的な管理運営の推進を図ります。
- ◆学校施設のスポーツレクリエーション用器具・備品の充実などを推進します。

(資料) 平成22年度学校体育施設(体育館)延べ利用回数 単位:回



3 公園・広場等の整備・充実

現状と課題

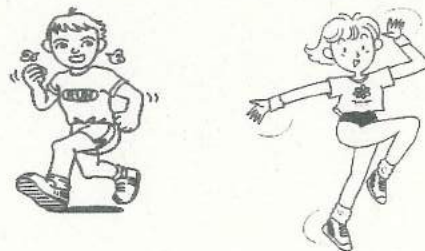
アンケート調査において、「現在、特に行っているスポーツ」を尋ねたところ、第1位が、「マラソン・ジョギング・ウォーキング」で、第2位は、「健康体操・太極拳・気功・ヨガ等」とレクリエーション的スポーツが上位を占めています。このことから市民は、身近な公園や広場、地域運動場など、室内にあっては地区会館などを利用していることがうかがえます。今後とも既存の施設の整備や充実、新たな施設の確保を図っていく必要があります。

到達目標

- 公園や広場、地域運動場などへのスポーツ機能の付加整備・充実
- 地区会館等の軽スポーツ施設としての活用
- 既存施設の改修・整備や新たな施設の確保

具体的な取組と施策展開

- ◆地域の公園・広場・地域運動場や地域の公共施設をスポーツ空間として活用を図ります。



第4節

スポーツ推進への行政の関わりの強化・充実

市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しめるように、また、スポーツや健康づくりに関心が持てるように、市民と行政がそれぞれ果たすべき役割を担っていくことが重要です。

1 スポーツの参加支援

現状と課題

アンケート調査において、「公共スポーツ施設に望むこと」を尋ねたところ、第1位が「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事を充実してほしい」、第2位が「活動情報をもっと流してほしい」となっています。

本市では様々な世代を対象にスポーツ事業や教室を開催しています。スポーツの推進を図るためには、スポーツをしていない市民の参加を促進し、市民が気軽にスポーツのできる環境を整えることが重要です。

到達目標

- 健康づくりに占めるスポーツの役割の意識啓発
- 初心者向けのスポーツ事業や教室の充実

具体的な取組と施策展開

- ◆スポーツに関わる情報の収集・提供体制を整備し、市民へのスポーツや健康に対する意識の高揚を図り、スポーツの参加を推進します。
- ◆市民ニーズを的確に捉え、初心者向けのスポーツ教室など必要な事業を効果的に推進します。
- ◆スポーツ事業の公共施設予約システム等の導入を推進します。

2 スポーツ情報の提供

現状と課題

市民へのスポーツ情報を提供する方法としては、現状では、市の広報紙、公共スポーツ施設の案内パンフレットなどがあります。また、市のホームページによってもスポーツの催しなどの情報が提供されています。

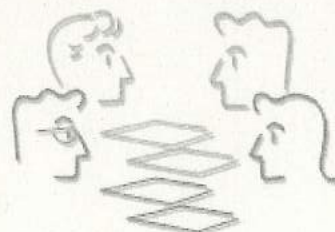
市民スポーツの推進を図るためには、身近な地域のスポーツに関する情報の収集及び提供を推進することが重要となります。

到達目標

- 市民スポーツのサークル・団体の活動状況や案内の情報提供

具体的な取組と施策展開

- ◆市報やホームページなどを利用して、市民スポーツのサークル・団体の活動状況等の情報提供を推進します。
- ◆スポーツ事業の公共施設予約システム等の導入を推進します。



資料編



1 アンケート調査概要

(1) 調査目的

武蔵村山市スポーツ推進計画の策定に当たり、市民のスポーツに関する意見や要望、また、現状等を的確に把握し、計画の策定及び今後のスポーツ施策の基礎資料とすることを目的としています。

(2) 調査対象

- ①武蔵村山市に居住する20歳以上の男女
- ②市内公共施設15か所 2,000部

(3) 調査期間

平成23年6月6日～6月30日

(4) 調査内容

- ①個人的属性：性別、年代、居住地域、職業
- ②日常生活：健康への意識
- ③実施状況：実施の有無、実施時間、実施理由、実施種目、実施場所、非実施理由
- ④体育施設：施設の利用状況等
- ⑤スポーツボランティア：参加意向等
- ⑥総合型地域スポーツクラブ：情報提供等
- ⑦今後の課題：重点項目

(5) 回答状況

20歳以上の市民を対象に市内公共施設15か所でアンケートを実施し、スポーツ・レクリエーションの活動実態や今後の活動動向等についてお聞きしました。

回答数 778件

区分		西部地区	中部地区	東部地区	合計
男性	20～29歳	3 1.3%	4 1.7%	7 3.0%	14 6.0%
	30～39歳	8 3.4%	3 1.3%	6 2.5%	17 7.2%
	40～49歳	13 5.5%	15 6.3%	6 2.5%	34 14.3%
	50～59歳	10 4.2%	14 5.9%	6 2.5%	30 12.6%
	60～69歳	24 10.1%	15 6.3%	35 14.8%	74 31.2%
	70歳以上	14 5.9%	25 10.6%	29 12.2%	68 28.7%

女性	20～29歳	4 0.7%	6 1.1%	6 1.1%	16 2.9%
	30～39歳	13 2.4%	20 3.7%	19 3.5%	52 9.6%
	40～49歳	28 5.2%	26 4.8%	32 5.9%	86 15.9%
	50～59歳	34 6.3%	14 2.6%	31 5.7%	79 14.6%
	60～69歳	45 8.3%	56 10.4%	81 15.0%	182 33.7%
	70歳以上	25 4.6%	30 5.6%	71 13.1%	126 23.3%

西部地区・・・岸、三ツ木、伊奈平、中原、残堀

中部地区・・・中藤、中央、本町、三ツ藤、榎

東部地区・・・神明、学園、大南、緑が丘

2 アンケート調査結果

問1 性別は？

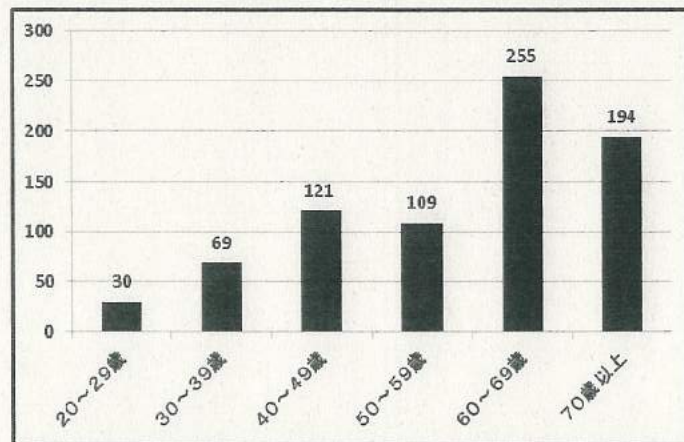
- 1 男性 237人
2 女性 541人

	西部地区	中部地区	東部地区	計
男性	72人	76人	89人	237人
女性	149人	152人	240人	541人
合計	221人	228人	329人	778人

問2 年齢は？

単位：人

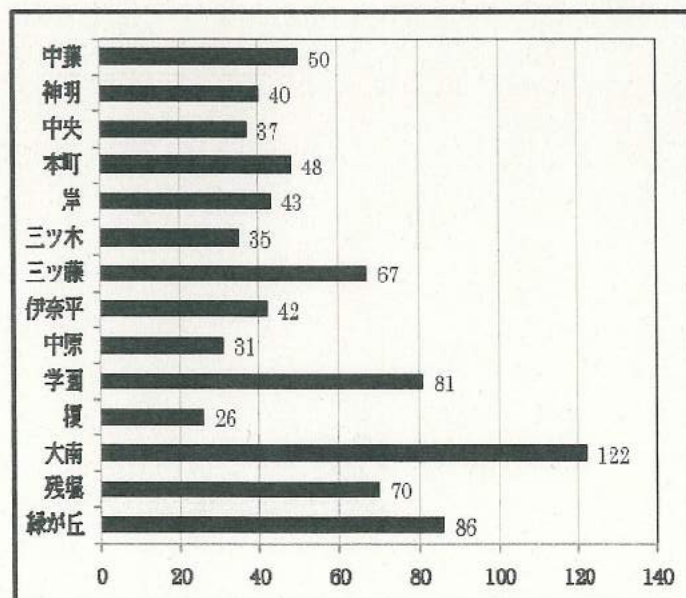
- 1 20～29歳 30人
2 30～39歳 69人
3 40～49歳 121人
4 50～59歳 109人
5 60～69歳 255人
6 70歳以上 194人



問3 お住まいの地区は？

単位：人

- 1 中藤 50人
2 神明 40人
3 中央 37人
4 本町 48人
5 岸 43人
6 三ツ木 35人
7 三ツ藤 67人
8 伊奈平 42人
9 中原 31人
10 学園 81人
11 榎 26人
12 大南 122人
13 残堀 70人
14 緑が丘 86人



問4 職業は何ですか？

1	会社員・公務員・教員	124人 (15.9%)
2	学生	5人 (0.6%)
3	自営業(農業・商工業)	34人 (4.4%)
4	主婦・主夫(主に家事)	294人 (37.8%)
5	パート・アルバイト	145人 (18.6%)
6	無職	153人 (19.7%)
7	その他	21人 (2.7%)
	無回答	2人 (0.3%)

問5 武蔵村山市にどのくらい住んでいますか？

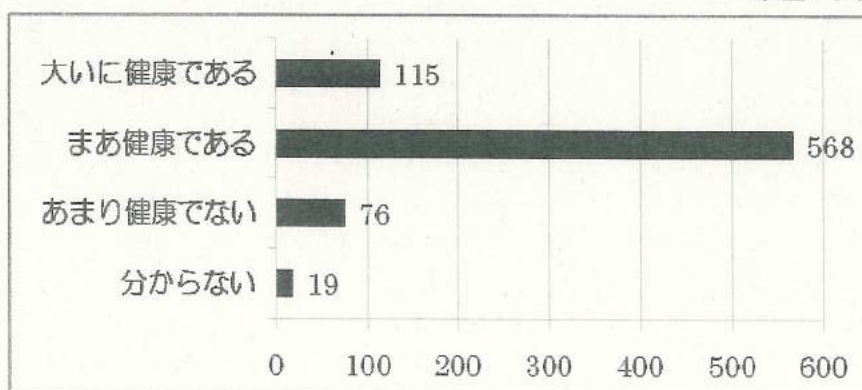
1	5年未満	55人 (7.1%)
2	5年以上10年未満	45人 (5.8%)
3	10年以上20年未満	110人 (14.1%)
4	20年以上	560人 (72.0%)
	無回答	8人 (1.0%)

問6 御自分の健康について、どのように感じていますか？

1	大いに健康である	115人 (14.8%)
2	まあ健康である	568人 (73.0%)
3	あまり健康でない	76人 (9.8%)
4	分からない	19人 (2.4%)



単位：人



問7 御自分の体力について、どのように思っていますか？

1	体力には自信がある	89人 (11.4%)
2	体力は普通である	503人 (64.7%)
3	体力に不安がある	172人 (22.1%)
4	分からない	14人 (1.8%)

問8 健康保持・体力増進に注意していますか？

1	常に注意している	343人 (44.1%)
2	時々注意している	377人 (48.4%)
3	注意していない	55人 (7.1%)
	無回答	3人 (0.4%)

問8-1 特に、どのようなことに注意していますか？「1、2の方」

1	食生活	259人 (36.0%)
2	体操やスポーツ	141人 (19.6%)
3	規則正しい生活	102人 (14.2%)
4	睡眠や休養	74人 (10.3%)
5	散歩など	58人 (8.0%)
6	定期的な健康診断	52人 (7.2%)
7	特に心がけていない	18人 (2.5%)
8	酒やたばこを控える	6人 (0.8%)
	その他	0人 (0.0%)
	無回答	10人 (1.4%)

問9 スポーツを行ったり、観戦したりすることが好きですか？

1	自分で「行う」のも「観戦」するのも好き	301人 (38.7%)
2	どちらかといえば「行う」方が好き	204人 (26.2%)
3	どちらかといえば「観戦」する方が好き	185人 (23.8%)
4	自分で「行う」のも「観戦」するのも嫌い	11人 (1.4%)
5	どちらも関心がない	66人 (8.5%)
	無回答	11人 (1.4%)

問10 過去1年位の間に何らかのスポーツを行いましたか？

1	軽い運動やスポーツを行った	447人 (57.4%)
2	競技的スポーツを行った	101人 (13.0%)
3	特に行っていない	213人 (27.4%)
	無回答	17人 (2.2%)

問10-1 なぜスポーツを行わなかったのですか？「3の方」
(複数回答あり)

1	時間がないから	132人 (43.4%)
2	機会がなかったから	51人 (16.8%)
3	体力に自信がないから	37人 (12.2%)
4	好きではないから	28人 (9.2%)
5	高齢のため	23人 (7.5%)
6	仲間がいないから	11人 (3.6%)
7	お金がかかるから	7人 (2.3%)
8	その他	6人 (2.0%)
9	場所や施設がないから	4人 (1.3%)
10	指導者がいないから	2人 (0.7%)
	無回答	3人 (1.0%)

問 11 普段、もっとスポーツを行いたいと思うことはありますか？

1	強く思う	153人 (19.7%)
2	時々思う	430人 (55.3%)
3	特に思わない	124人 (15.9%)
4	何とも言えない	46人 (5.9%)
	無回答	25人 (3.2%)

問 12 現在、どの程度スポーツを行っていますか？

1	ほとんど毎日	51人 (6.6%)
2	週に3~4日	126人 (16.2%)
3	週に1~2日	272人 (35.0%)
4	月に1~3日	86人 (11.0%)
5	年に数回	58人 (7.4%)
6	行っていない	164人 (21.1%)
	無回答	21人 (2.7%)

問 13 スポーツを行っている時間帯は？

1	平日の昼間	366人 (47.1%)
2	平日の夜間	61人 (7.8%)
3	休日の昼間	104人 (13.4%)
4	休日の夜間	8人 (1.0%)
5	いつでも	20人 (2.6%)
6	その他	33人 (4.2%)
	無回答	186人 (23.9%)

問 14 スポーツを始めたきっかけは何ですか？

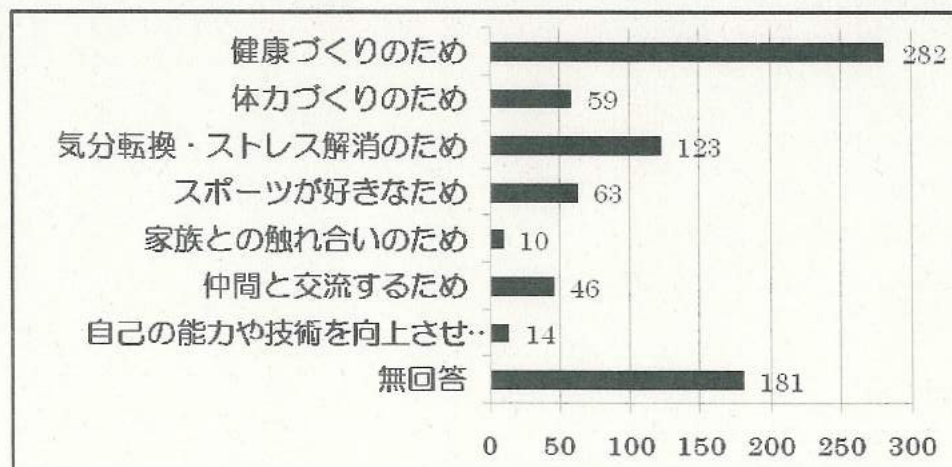
1	子供の頃に好きで始めた	60人 (7.7%)
2	学生時代に経験した	82人 (10.5%)
3	職場・地域の人などの誘い	205人 (26.4%)
4	スポーツ教室や大会行事に参加して	73人 (9.4%)
5	その他	155人 (19.9%)
	無回答	203人 (26.1%)

問 15 スポーツを行っている目的は何ですか？

1	健康づくりのため	282人 (36.2%)
2	体力づくりのため	59人 (7.6%)
3	気分転換・ストレス解消のため	123人 (15.8%)
4	スポーツが好きなため	63人 (8.1%)
5	家族との触れ合いのため	10人 (1.3%)
6	仲間と交流するため	46人 (5.9%)
7	自己の能力や技術を向上させるため	14人 (1.8%)
	無回答	181人 (23.3%)



単位：人



問 16 現在、特に行っているスポーツは何ですか？

(複数回答あり)

1	マラソン・ジョギング・ウォーキング	165人 (16.1%)
2	健康体操・太極拳・気功・ヨガ等	132人 (12.9%)
3	体操・新体操・エアロビクス・ジャズダンス	93人 (9.1%)
4	その他	75人 (7.3%)
5	ゴルフ	55人 (5.4%)
6	バドミントン・テニス・ソフトテニス	53人 (5.2%)
7	グラウンドゴルフ	47人 (4.6%)
8	水泳	32人 (3.1%)
9	卓球	29人 (2.8%)
10	バレエ・社交ダンス	23人 (2.2%)
11	スキー・スノーボード・スケート	19人 (1.8%)
12	野球(硬式・軟式)	18人 (1.7%)
13	バレーボール	12人 (1.2%)
〃	ボウリング	12人 (1.2%)
14	キャンプ	9人 (0.9%)
15	ソフトボール	8人 (0.8%)
16	サッカー・フットサル	6人 (0.6%)
〃	武道(柔道・剣道・弓道・空手道など)	6人 (0.6%)
17	バスケットボール	5人 (0.5%)
〃	ゲートボール	5人 (0.5%)
18	キンボール	4人 (0.4%)
〃	インディアカ	4人 (0.4%)
	ビーチバレーボール	1人 (0.1%)
	フィールドアスレチック	1人 (0.1%)
	無回答	210人 (20.5%)

問 17 スポーツをするときに妨げになることは何ですか？

(複数回答あり)

1	場所が足りない	111人 (14.3%)
2	設備・用具が足りない	9人 (1.1%)
3	仕事や家事などで時間がない	125人 (16.1%)
4	仲間がいない	17人 (2.2%)
5	指導者がいない	8人 (1.0%)
6	お金がかかる	45人 (5.8%)
7	施設までの距離が遠い	63人 (8.1%)
8	やりたい種目がない	14人 (1.8%)
9	体力に自信がない	49人 (6.3%)
10	家族の理解がない	3人 (0.4%)
11	情報がない	15人 (1.9%)
12	その他	47人 (6.0%)
	無回答	272人 (35.0%)

問 18 この1年間に市のスポーツ大会や地域のスポーツ行事に参加しましたか？

1	ある	218人 (28.0%)
2	ない	368人 (47.3%)
	無回答	192人 (24.7%)

問 18-1 なぜ、参加しなかったのですか？「2の方」

1	忙しいから	78人 (21.2%)
2	開催を知らなかったから	68人 (18.5%)
3	体力や技術に自信がないから	63人 (17.1%)
4	その他	54人 (14.7%)
5	好きではないから	44人 (12.0%)
6	仲間がいないから	38人 (10.3%)
	無回答	23人 (6.2%)

問19 この1年間に武蔵村山市にあるスポーツ施設（学校体育施設を除く）をどのくらい利用しましたか？

1	ほとんど毎日	10人 (1.3%)
2	週に3~4日	54人 (6.9%)
3	週に1~2日	174人 (22.4%)
4	月に2~3日	42人 (5.4%)
5	月に1回程度	61人 (7.8%)
6	利用していない	259人 (33.3%)
	無回答	178人 (22.9%)

問20 普段どこでスポーツをしていますか？

1	市内の公共スポーツ施設（学校を除く）	201人 (25.8%)
2	市内の学校体育施設	27人 (3.5%)
3	市内の民間のスポーツ施設	27人 (3.5%)
4	市内の広場・公園	78人 (10.0%)
5	他市区町村の公共スポーツ施設 （学校を除く）	43人 (5.5%)
6	他市区町村の学校体育施設	9人 (1.2%)
7	他市区町村の民間スポーツ施設	39人 (5.0%)
8	他市区町村の広場・公園	16人 (2.1%)
9	自宅	35人 (4.5%)
10	その他	88人 (11.3%)
	無回答	215人 (27.6%)

問21 武蔵村山市内のスポーツ施設を利用する際、不満や不便だと感じていることは何ですか？

1	駐車場不足	69人 (8.9%)
2	トイレ、ロッカーの不足	10人 (1.3%)
3	交通の便	165人 (21.2%)
4	借りる手間の面倒	85人 (10.9%)
5	特にない	213人 (27.4%)
6	その他	39人 (5.0%)
	無回答	197人 (25.3%)

問22 公共スポーツ施設に望むことは何ですか？

1	初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事を充実してほしい	196人 (25.2%)
2	利用時間を長くしてほしい(早朝、夜間等)	59人 (7.6%)
3	活動情報をもっと流してほしい	117人 (15.0%)
4	用具をもっと充実させてほしい	27人 (3.5%)
5	指導者をもっと配置してほしい	29人 (3.7%)
6	その他	63人 (8.1%)
	無回答	287人 (36.9%)

問23 武蔵村山市に建設・増設してほしいと思うスポーツ施設は何ですか？

(自由回答)

1	プール（屋内・屋外）	46人
2	テニスコート	9人
3	ジム	5人
4	ゴルフ場	4人
〃	全天候型陸上競技場	4人
5	自宅からアクセスできる遊歩道	3人
〃	スケートリンク	3人
〃	地域一体型スポーツクラブ	3人
〃	フットサル場	3人
6	健康づくりの施設増設	2人
〃	高齢者向けスポーツ施設	2人
	アーチェリー	1人
	大南公園に健康遊具	1人
	屋内スキー場	1人
	オリエンテーリングフィールド	1人
	ゲートボール場	1人
	サッカーグラウンド	1人
	自転車が走りやすい道 市全域	1人
	スポーツ吹矢ができる施設	1人
	ダンス用板間の教室	1人
	ハンドボール場	1人
	日帰りキャンプ場	1人
	マットレス	1人
	夜間10時まで利用できる施設	1人
	野球場	1人
	ロッカー・シャワー施設	1人
	高齢者と子供の集い	1人

問24 過去1年くらいの間に、指導や協力など、ボランティア活動を行ったことはありますか？

1	ある	127人 (16.3%)
2	ない	583人 (74.9%)
	無回答	68人 (8.8%)

問24-1 主にどのような活動ですか？「1の方」

1	活動などの運営や世話	55人 (43.3%)
2	指導・コーチ・審判	44人 (34.6%)
3	その他	20人 (15.8%)
4	施設の管理	7人 (5.5%)
	無回答	1人 (0.8%)

問25 今後、スポーツに関するボランティア活動に参加したいと思いますか？

1	ぜひ参加したい	40人 (5.1%)
2	できれば参加したい	118人 (15.2%)
3	あまり参加したくない	167人 (21.5%)
4	まったく参加したくない	65人 (8.3%)
5	何ともいえない	287人 (36.9%)
	無回答	101人 (13.0%)

問25-1 主にどのようなボランティア活動ですか？「1・2の方」

1	活動などの運営や世話	93人 (58.9%)
2	指導・コーチ・審判	34人 (21.5%)
3	その他	14人 (8.9%)
4	施設の管理	10人 (6.3%)
	無回答	7人 (4.4%)

問26 現在、スポーツのクラブ（サークル）に入っていますか？

1	入っている	289人 (37.1%)
2	入っていない	413人 (53.1%)
	無回答	76人 (9.8%)

問26-1 それはどのようなクラブですか？「1の方」

(複数回答あり)

1	友人とのクラブ	120人 (38.3%)
2	町内の人に参加しているクラブ	96人 (30.7%)
3	民間が開設している会員制のクラブ	39人 (12.5%)
4	その他	28人 (8.9%)
5	職場のクラブ	16人 (5.1%)
6	学校のクラブ	3人 (1.0%)
	無回答	11人 (3.5%)



問26-2 そのクラブはどこにありますか？

(複数回答あり)

1	武蔵村山市内	226人 (73.4%)
2	周辺の他市町（立川市・昭島市・東大和市・国立市・東村山市・瑞穂町）	48人 (15.6%)
3	上記以外の東京都内の他市区町村	21人 (6.8%)
4	その他	5人 (1.6%)
5	東京都外の市町村	4人 (1.3%)
	無回答	4人 (1.3%)

問27 現在全国の市区町村で設立が進められている「総合型地域スポーツクラブ」について知っていますか？

1	知っている	62人 (8.0%)
2	聞いたことがある	106人 (13.6%)
3	知らない	508人 (65.3%)
	無回答	102人 (13.1%)

問28 武蔵村山市内に総合型地域スポーツクラブが設立された場合、どのような条件が整えば会費を出して入会しても良いと思いますか？

(複数回答あり)

1	スポーツ施設の優先的利用	208人 (20.7%)
2	託児施設の設置	31人 (3.1%)
3	夜間のスポーツ施設	118人 (11.7%)
4	指導者の常駐	125人 (12.4%)
5	多様なプログラムの提供	239人 (23.8%)
6	スポーツに関する情報の入手	87人 (8.6%)
7	その他	51人 (5.1%)
	無回答	147人 (14.6%)

問29 武蔵村山市内に総合型地域スポーツクラブが設立された場合、毎月どのくらいの会費なら入会しても良いと思いますか？

1	3,000円程度	60人 (7.7%)
2	2,000円程度	216人 (27.8%)
3	1,000円程度	246人 (31.6%)
4	500円程度	109人 (14.0%)
5	その他	26人 (3.3%)
	無回答	121人 (15.6%)

問30 知りたい武蔵村山市のスポーツ情報は何ですか？

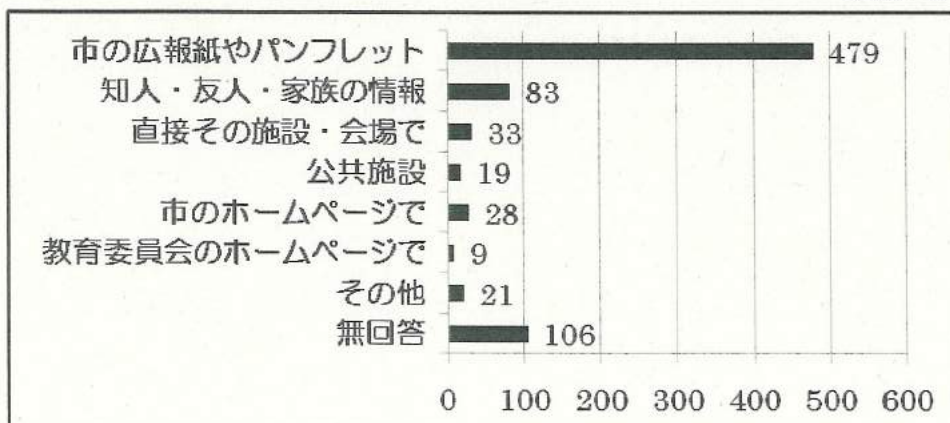
1	大会やイベント等の情報	147人 (18.9%)
2	施設の利用方法	109人 (14.0%)
3	施設の空き情報や予約状況	91人 (11.7%)
4	団体やサークルの情報	134人 (17.2%)
5	施設の有無や施設概要	55人 (7.1%)
6	ボランティアに関する情報	8人 (1.0%)
7	指導者に関する情報	36人 (4.6%)
8	その他	37人 (4.8%)
	無回答	161人 (20.7%)

問31 武蔵村山市のスポーツ情報はどのようにして得ていますか？

1	市の広報紙やパンフレット	479人 (61.6%)
2	知人・友人・家族の情報	83人 (10.7%)
3	直接その施設・会場で	33人 (4.2%)
4	公共施設	19人 (2.4%)
5	市のホームページで	28人 (3.6%)
6	教育委員会のホームページで	9人 (1.2%)
7	その他	21人 (2.7%)
	無回答	106人 (13.6%)



単位：人



問 32 武蔵村山市のスポーツ活動が盛んになるために特に大切なことはどのようなことだと思いますか？

(複数回答あり)

1	身近な場所や施設の整備	423人 (35.6%)
2	施設運営体制・方法の充実	115人 (9.7%)
3	総合型地域スポーツクラブの育成	116人 (9.8%)
4	学校体育施設の開放と利用促進	62人 (5.2%)
5	ボランティアの育成	24人 (2.0%)
6	専門的指導者の確保・育成	134人 (11.3%)
7	子供たちの体力の向上	74人 (6.2%)
8	競技力の向上	13人 (1.1%)
9	プロスポーツや企業スポーツとの連携	48人 (4.1%)
10	団体等への活動支援の強化	43人 (3.6%)
11	その他	17人 (1.4%)
	無回答	119人 (10.0%)



3 武蔵村山市スポーツ推進計画策定経過

期 日	項 目	内 容
平成23年 5月24日	第1回 策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ■策定委員会の進め方について ■スポーツ振興基本計画素案について ■アンケート（案）について
6月15日	アンケート 実施	20歳以上の市民、公共施設15か所 6月7日から6月30日
8月22日	第2回 策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ■アンケート結果について ■基本計画素案の検討
8月30日	第1回 策定懇談会	<ul style="list-style-type: none"> ■正副座長の互選 ■懇談会の進め方について ■基本計画素案について ■アンケート結果について
10月12日	第3回 策定委員会	■基本計画素案の検討
10月25日	第2回 策定懇談会	■基本計画素案の検討
11月 4日	第4回 策定委員会	■基本計画素案の検討
11月15日	第3回 策定懇談会	■基本計画素案の検討
12月13日	第5回 策定委員会	■基本計画素案の検討
12月20日	第4回 策定懇談会	■基本計画素案の検討
平成24年 1月16日	第6回 策定委員会	■基本計画素案の確認
1月23日	第5回 策定懇談会	■基本計画素案の確認
1月24日 ～ 2月 1日	パブリック コメント	武蔵村山市スポーツ推進計画（案）
2月14日	第7回 策定委員会	■基本計画原案の確認

4 委員名簿

(1) 武蔵村山市スポーツ推進計画策定委員会委員名簿

役 職	氏 名	職 名
委 員 長	吉川 久よ	教育部長
副委員長	小川 和男	生涯学習スポーツ担当部長
委 員	比留間毅浩	企画財務部企画政策課長
委 員	峯尾 正彦	市民生活部地域振興課長
委 員	島田 拓	健康福祉部高齢福祉課長
委 員	登坂 正美	健康福祉部障害福祉課長
委 員	川島 一利	健康福祉部子育て支援課長
委 員	井上 悟	健康福祉部健康推進課長
委 員	石井 稔	都市整備部都市計画課長
委 員	中野 育三	教育部教育総務課長
委 員	比留間善雄	教育部教育施設担当課長
委 員	鈴木 浩	教育部国体スポーツ担当課長

(2) 武蔵村山市スポーツ推進計画策定懇談会委員名簿

(順不同、敬称略)

役 職	氏 名	備 考
座 長	藤野 茂	学識経験者「市議会議員」
副 座 長	川島 良夫	スポーツ推進委員協議会会長
委 員	有吉 正博	学識経験者「国立大学教授」
委 員	栗岩 淳一	学識経験者「元都立高校校長」
委 員	津野 晃	スポーツ推進委員協議会副会長
委 員	櫻井 強	体育協会理事
委 員	矢田 充	都立高校PTA会長
委 員	山内かよ子	公募市民

5 関係要綱

(1) 武蔵村山市スポーツ推進計画策定委員会設置要綱

平成23年4月1日
教育委員会訓令(乙)第5号

(設置)

第1条 スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第10条第1項の規定に基づき、武蔵村山市の実情に即したスポーツの推進に関する計画(次条において「武蔵村山市スポーツ推進計画」という。)を策定するため、武蔵村山市スポーツ推進計画策定委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(所掌事項)

第2条 委員会は、武蔵村山市の実情に即したスポーツの推進に関する施策等について検討して武蔵村山市スポーツ推進計画の原案を策定し、武蔵村山市教育委員会に報告する。

(組織)

第3条 委員会は、委員12人をもって組織する。

2 委員は、教育部長、教育部生涯学習スポーツ担当部長、企画財務部企画政策課長、市民生活部地域振興課長、健康福祉部高齢福祉課長、同部障害福祉課長、同部子育て支援課長、同部健康推進課長、都市整備部都市計画課長、教育部教育総務課長、同部教育総務課教育施設担当課長及び同部生涯学習スポーツ課国体スポーツ担当課長の職にある者をもって充てる。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に、委員長及び副委員長1人を置き、それぞれ教育部長の職にある委員及び教育部生涯学習スポーツ担当部長の職にある委員をもって充てる。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、教育部生涯学習スポーツ課において処理する。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則 (平成23年8月19日教育委員会訓令(乙)第33号)

この要綱は、スポーツ基本法(平成23年法律第78号)の施行の日(平成23年8月24日)から施行する。

(2) 武蔵村山市スポーツ推進計画策定懇談会設置要綱

平成23年4月1日
教育委員会訓令(乙)第6号

(設置)

第1条 スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第10条第1項の規定に基づき、武蔵村山市の実情に即したスポーツの推進に関する計画(次条において「武蔵村山市スポーツ推進計画」という。)を市民の意見を反映して策定するため、武蔵村山市スポーツ推進計画策定懇談会(以下「懇談会」という。)を置く。

(所掌事項)

第2条 懇談会は、武蔵村山市スポーツ推進計画の原案について協議し、その結果を武蔵村山市教育委員会に報告する。

(組織)

第3条 懇談会は、武蔵村山市内に住所を有し、又は武蔵村山市内に通勤し、若しくは通学する満20歳以上の者のうちから武蔵村山市教育委員会が委嘱する委員8人(うち1人は、公募によるものとする。)をもって組織する。

(座長及び副座長)

第4条 懇談会に、座長及び副座長1人を置き、委員の互選により選任する。

2 座長は、懇談会を代表し、会務を総理する。

3 副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるとき、又は座長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 懇談会の会議は、座長が招集する。

2 懇談会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 懇談会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、座長の決するところによる。

(任期)

第6条 委員の任期は、第2条の規定による報告の終了をもって満了する。

(庶務)

第7条 懇談会の庶務は、教育部生涯学習スポーツ課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、座長が懇談会に諮って定める。

附 則 (平成23年8月19日教育委員会訓令(乙)第34号)

この要綱は、スポーツ基本法(平成23年法律第78号)の施行の日(平成23年8月24日)から施行する。

武蔵村山市スポーツ推進計画

平成24年3月

発行 武蔵村山市教育委員会
編集 武蔵村山市教育委員会教育部生涯学習スポーツ課
〒208-8501
東京都武蔵村山市本町一丁目1番地の1
TEL 042-565-1111
FAX 042-566-2619

メールアドレス

sports@city.musashimurayama.tokyo.jp
